

2026年3月

IRご担当者の皆様

一般社団法人日本IR協議会
専務理事 佐藤淑子

「IR特別講座」(3月25日開催・ウェビナー方式)のご案内

サステナビリティやガバナンスに関する知見を深める“特別講座”

日本IR協議会では、下記により「IR特別講座」を開催いたします。皆さまのご受講をお待ち申し上げます。

○ プログラムの特徴：

当協議会は、2023年3月からIR責任者・担当者が知見を深めるべきテーマを設けた「IR特別講座」を開催しております。今回もサステナビリティやガバナンスへの取り組みに焦点をあて、IR活動を高く評価されている企業の事例や機関投資家の視点なども取り込んだプログラムといたします。加えて、関心が高まっている海外IRや株主ターゲティングの現状や留意点などに関するプログラムも盛り込みます。

○ 受講いただきたい方々：

IR業務の担当者、IR部門責任者を含め、最新情報の習得を希望する方々の受講をお奨めします。またサステナビリティ/ESG 部門、株主対応(SR)部門など、関連部門の方々と同時受講をしていただくことも可能です。ぜひ社内でのご検討をお願いします。

○ プログラムの概略：

当協議会の専務理事より冒頭に「**持続的成長を導くIR**」の観点より主要論点を解説のうえ、次のようなプログラムをご用意しております。

IR優良企業の活動事例

2025年に「IR優良企業特別賞」を受賞された**中外製薬**様、「“共感！” IR賞」に選定された**積水化学工業**様にご登壇をお願いします。IR活動とサステナビリティ経営との関連を中心にご紹介頂きます。

機関投資家が重視するIR活動

ラザード・ジャパン・アセット・マネージメント様にご登壇をお願いし、長期投資家として企業価値評価をどのように行ない、投資判断に取り入れているかのご説明とともに、コーポレート・ガバナンス改善や企業のIR活動への提言を含め、お話し頂きます。

効果的な株主ターゲティングと海外IR

ジェイ・ユール・アイアール様にご登壇頂き、効果的な株主ターゲティングや海外IRの進め方、ガバナンス上の留意点などにつき、解説とご提言をお願いします。

○ 受講方式：

Zoom ウェビナー方式により実施します。(講師との質疑応答セッションあり)

開催の2日前にアクセス先 URL とプレゼンテーション資料のダウンロード URL をご連絡いたします。

【開催概要】

日 時： 2026年3月25日(水) 10時～15時20分

※Zoom ウェビナー方式による開催

3月30日(月)から4月8日(水)までアーカイブ配信予定

主 催： 一般社団法人 日本IR協議会

【受講料(税込み) 1名あたり】

会員企業の方：12,000円 非会員企業の方：24,000円

※お申し込み確認後に請求書をお送りします。3月末日までにご入金願います。

※キャンセルをお受けする日時は開催日の4営業日前(3月19日)の17時までです。キャンセルはお電話のみにて受け付けます。(TEL:03-5259-2676)

【受講に関するお願い】

講座の2日前(3月23日)をめどに「受講のご案内」をメールで連絡します。

内容は Zoom ウェビナーへのアクセス URL、講義資料ダウンロード用の URL、アーカイブの利用方法等のご案内を予定しています。

※Zoom ウェビナー、アーカイブ配信 URL ともに受講者として登録頂いた方のみが利用可能です。所属部門内での共有は受講者の責任のもとでお願いいたします。くれぐれも二次使用や顧客等への拡散はお控えください。

【お申し込み】

当協議会のウェブサイトからご入力ください。 <http://www.jira.or.jp/>

本案内に添付しております参加申込書にてメール、FAXでもお申込みいただけます。関連部門の皆さまが申し込まれる場合などにご利用ください。

※申込期限:3月13日(金)17時

※必ず社内 LAN の環境など Zoom ウェビナーに対応可能であることを確認のうえお申込みをお願いします。通信環境等でご不明の場合には、御社の情報システム部門や総務部門とのご相談をお奨めします。ご自宅等からの受講予定の場合にも LAN や Wi-Fi の通信環境のご確認をお願いします。

■プログラム（2月20日現在）

3月25日（水） Zoom ウェビナー					
10:00-10:05	講座受講に関するご案内				
10:05-10:35	<p>① 持続的成長を導くIR</p> <p>日本株上昇を期待する市場関係者が増えるなか、IRへの関心も高まっている。ただ企業を取り巻く環境は大きく変わり、市場での評価にも影響を及ぼしている。先行きを見通しにくいなか、IR活動では従来以上に中長期で企業価値を向上し、持続的に成長する力を示す姿勢が重要になる。その論点をIR優良企業賞応募企業のトレンドや取り組みなどを基に解説する。</p> <p style="text-align: center;">日本IR協議会 専務理事 佐藤 淑子</p>				
10:40-11:30	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>② 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するIR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルな社会の実現と、会社の持続的な成長との両立を目指す取り組み ・資本市場との建設的な対話を通じ、企業価値を育む好循環を生み出すIR活動 ・質疑応答 </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top; padding-left: 10px;"> <p>☆ポイント</p> <p>積水化学は、詳細な情報開示やIRイベントの拡充など、資本市場から高く評価されるIR活動を長く継続している。サステナブルな社会の実現に向けたイノベーションに関する発信にも積極的で、2025年1月に量産化を発表した「ペロブスカイト太陽電池」事業も注目を集めている。</p> <p>企業価値向上を目指す経営をどのように資本市場と共有しているか、活動事例を中心にお話いただく。</p> <p style="text-align: center;">*2023 年度「IR向上企業プレミアム」 「IR継続企業プレミアム」に選定 2025 年度「“共感！” IR賞」に選定</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding-top: 10px;"> <p>積水化学工業 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ長 岡田 邦彦 氏 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ IR担当課長 神谷 俊明 氏</p> </td> </tr> </table>	<p>② 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するIR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルな社会の実現と、会社の持続的な成長との両立を目指す取り組み ・資本市場との建設的な対話を通じ、企業価値を育む好循環を生み出すIR活動 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>積水化学は、詳細な情報開示やIRイベントの拡充など、資本市場から高く評価されるIR活動を長く継続している。サステナブルな社会の実現に向けたイノベーションに関する発信にも積極的で、2025年1月に量産化を発表した「ペロブスカイト太陽電池」事業も注目を集めている。</p> <p>企業価値向上を目指す経営をどのように資本市場と共有しているか、活動事例を中心にお話いただく。</p> <p style="text-align: center;">*2023 年度「IR向上企業プレミアム」 「IR継続企業プレミアム」に選定 2025 年度「“共感！” IR賞」に選定</p>	<p>積水化学工業 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ長 岡田 邦彦 氏 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ IR担当課長 神谷 俊明 氏</p>	
<p>② 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するIR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルな社会の実現と、会社の持続的な成長との両立を目指す取り組み ・資本市場との建設的な対話を通じ、企業価値を育む好循環を生み出すIR活動 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>積水化学は、詳細な情報開示やIRイベントの拡充など、資本市場から高く評価されるIR活動を長く継続している。サステナブルな社会の実現に向けたイノベーションに関する発信にも積極的で、2025年1月に量産化を発表した「ペロブスカイト太陽電池」事業も注目を集めている。</p> <p>企業価値向上を目指す経営をどのように資本市場と共有しているか、活動事例を中心にお話いただく。</p> <p style="text-align: center;">*2023 年度「IR向上企業プレミアム」 「IR継続企業プレミアム」に選定 2025 年度「“共感！” IR賞」に選定</p>				
<p>積水化学工業 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ長 岡田 邦彦 氏 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ IR担当課長 神谷 俊明 氏</p>					
11:30-11:40	休憩				
11:40-12:30	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>③ マルチステークホルダーとの共創による企業価値拡大を資本市場と共有する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社的に取り組む社会課題解決と企業価値拡大 ・「開示」と「対話」の両輪を重視し、幅広く展開しているIR活動 ・コーポレート・ガバナンス強化による資本市場との価値共有 ・質疑応答 </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top; padding-left: 10px;"> <p>☆ポイント</p> <p>中外製薬は、IR活動のレベルが高いといわれる医薬品業界の中でも継続して活動内容を評価されている。経営トップのリーダーシップのもと、研究開発関連のイベントが充実していることに加え、社会課題解決と企業価値拡大の結びつきやコーポレート・カバナンズに関する説明も強化している。様々な企業の参考になると思われる活動事例をご紹介いただく。</p> <p style="text-align: center;">*2020, 2023 年度「IR優良企業賞」 2025 年度「IR優良企業特別賞」受賞</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding-top: 10px;"> <p>中外製薬 広報IR部 IRグループマネージャー 櫻井 貴之 氏 広報IR部 IRグループ 山田 弥生 氏</p> </td> </tr> </table>	<p>③ マルチステークホルダーとの共創による企業価値拡大を資本市場と共有する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社的に取り組む社会課題解決と企業価値拡大 ・「開示」と「対話」の両輪を重視し、幅広く展開しているIR活動 ・コーポレート・ガバナンス強化による資本市場との価値共有 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>中外製薬は、IR活動のレベルが高いといわれる医薬品業界の中でも継続して活動内容を評価されている。経営トップのリーダーシップのもと、研究開発関連のイベントが充実していることに加え、社会課題解決と企業価値拡大の結びつきやコーポレート・カバナンズに関する説明も強化している。様々な企業の参考になると思われる活動事例をご紹介いただく。</p> <p style="text-align: center;">*2020, 2023 年度「IR優良企業賞」 2025 年度「IR優良企業特別賞」受賞</p>	<p>中外製薬 広報IR部 IRグループマネージャー 櫻井 貴之 氏 広報IR部 IRグループ 山田 弥生 氏</p>	
<p>③ マルチステークホルダーとの共創による企業価値拡大を資本市場と共有する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社的に取り組む社会課題解決と企業価値拡大 ・「開示」と「対話」の両輪を重視し、幅広く展開しているIR活動 ・コーポレート・ガバナンス強化による資本市場との価値共有 ・質疑応答 	<p>☆ポイント</p> <p>中外製薬は、IR活動のレベルが高いといわれる医薬品業界の中でも継続して活動内容を評価されている。経営トップのリーダーシップのもと、研究開発関連のイベントが充実していることに加え、社会課題解決と企業価値拡大の結びつきやコーポレート・カバナンズに関する説明も強化している。様々な企業の参考になると思われる活動事例をご紹介いただく。</p> <p style="text-align: center;">*2020, 2023 年度「IR優良企業賞」 2025 年度「IR優良企業特別賞」受賞</p>				
<p>中外製薬 広報IR部 IRグループマネージャー 櫻井 貴之 氏 広報IR部 IRグループ 山田 弥生 氏</p>					

12:30-13:30	昼食休憩	
13:30-14:20	<p>④ 対話による企業価値向上 -機関投資家が重視するIR活動-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な時間軸に基づく投資家の視点 ・企業との対話やエンゲージメントの実際 ・コーポレート・ガバナンス改善に向けた課題 ・さらなる企業価値向上につながるIR活動への期待と提言 ・質疑応答 	<p>☆ポイント 企業のIR活動においては財務情報に加え非財務情報の開示も拡充されているが、その一方で企業価値向上に結びつくプロセスをどのように資本市場と共有するか、という本質が問われている。長期視点の機関投資家として、数多くの企業との対話やエンゲージメントを行ない、財務・非財務の両視点から調査・分析を行っている立場から、企業価値向上につながるIR活動のポイントについてお話しいただく。</p> <p style="text-align: center;">ラザード・ジャパン・アセット・マネージメント ディレクター ポートフォリオ・マネージャー/アナリスト 福田 智美 氏 (Ph.D.)</p>
14:20-14:30	休憩	
14:30-15:20	<p>⑤ 効果的な海外IR (ターゲティングとメッセージ構築)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラッキング&ターゲティング ・海外投資家とのコミュニケーションにおけるポイント ・資本市場の声を取締役会へ届ける手法 ・質疑応答 	<p>☆ポイント 株式市場が活性化している中、自社のあるべき株主構成の検討や、海外投資家向けIR活動強化の動きが顕在化している。建設的対話を目指したターゲティング、「郷に入っては郷に従え」のメッセージ構築、関心を喚起するための主体的対話、取締役会へ株主の評価懸念を報告するポイント、などについて、幅広くIR支援業務を展開している立場よりお話しいただく。</p> <p style="text-align: center;">ジェイ・ユーラス・アイアール ディレクター 原山 真紀 氏</p>

IR特別講座（2026/3/25）参加申込書

御社名	
所在地	〒

受講者

フリガナ	
氏名	
部署名	
お役職	
電話	
e-mail 必須	

●お問い合わせは

一般社団法人 日本IR協議会 担当:近藤、桜井
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-6-6 MIFビル9階
電話 03-5259-2676 FAX03-5259-2677
e-Mail : seminar@jira.or.jp

* 皆様からお預かりする個人情報は、当協議会がIR活動の普及・促進を目的として収集しております。従ってこの目的以外にご記入いただいた内容や皆様に関する情報を第三者に開示することはありません。